

科目名	美術表現Ⅱ				担当	吉澤 俊		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年後期	実務経験	小中高特教論 経験有	
必修	—				ナバリング	Y3704	DPとの関連	3・4
授業概要	「美術表現Ⅰ」で学んだ基礎を基に、発展的に研究・制作を行い、最終的に展覧会を自分達で企画運営し、展示する。様々な表現素材と出会い、他の人と関わりながら自分なりに表現する経験を重ねることを通して、表現の楽しさや意味を再認識する。未来の保育者として必要となる美術を通じた「他者との関わりスキルの上達」や「生涯にわたり美術・造形表現を愛好」できることを目指す。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの表現を探求し、展示会を通して発信できるようになる ・グループワークや地域でのフィールドワークを通して、美術を通しての他者との関わり方を学ぶ ・美術・造形活動の楽しさや意味を再認識できるようになる ・様々な造形表現に対しての知識・理解を深める 							
授業計画	回	内容						
	1	授業ガイダンス	前期の活動の見返し・活動の見直しをもつ。					
	2	前期陶芸作品の焼成	施釉 本焼き ドキュメンテーション					
	3	野焼き陶芸	①	地域の素材を活用し、保育現場でも使える野焼き陶芸を経験する				
	4		②	制作				
	5		③	制作				
	6		④	野焼き ドキュメンテーション 見返し				
	7	動画制作	①	グループワーク 制作方法 グループ編成				
	8		②	テーマ決定 絵コンテ 制作				
	9		③	制作 撮影				
	10		④	制作 編集 音入れ				
	11		⑤	上映 ドキュメンテーション 見返し				
	12	展示準備	①	グループワーク 展示計画 キャプション制作 広報準備				
	13		②	展示準備				
	14	展示	展示 対話型鑑賞					
15	見返し	見返し ドキュメンテーション						
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究・制作テーマを決め、主体的・継続的に研究・制作することを通してテーマに対する学びを深めることができたか 2. 作品等の研究成果を自主企画展覧会で発表することができたか 							
評価方法	授業態度 10% 作品制作・ドキュメンテーションの内容 60% 発表技術 30%							
フィードバック 方法	ドキュメンテーションをもとにした会話 展示発表時の対話型鑑賞							
アクティブ ラーニング	制作 ドキュメンテーションによる共有活動 展示活動(企画・運営)							
材料費	材料費として 500 円程度必要となる							
教科書	特になし							
参考書	研究テーマに沿う形で、必要に応じて提示する							
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・造形表現の楽しさを様々な素材との出会いや他者との関わりを通して経験する。上手下手は全く関係ない。苦手でも自分なりに表現したいという意欲があれば大丈夫。 ・人との関わりを通して楽しさや達成感を味わい、コミュニケーションスキルを学ぶ ・「美術表現Ⅰ」を受講していることが必要 							
授業外学習	研究テーマに応じて、授業外学習を設定する。学外で展覧会を開催する予定。地域連携活動等での授業外学習が設定される場合がある。							
オフィスアワー	学生支援課の掲示板に掲示する							